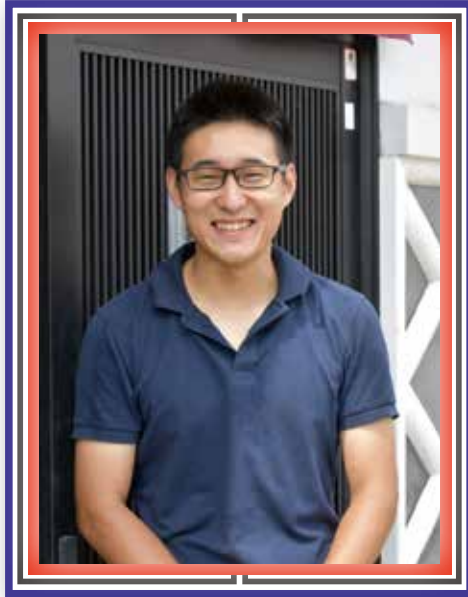


しょうぼう 消防も…のひと

消防団員 = 発災時に市民を守る使命を
帯びた 隣人(りんじん)



高林 哲也 さん

第2分団 団員
(消防団歴2年、東本町在住)

義理の父から勧められて入団するまでは、消防団の役割をよく分かっていませんでした。消防署の人の補助ではなく、現場で消火活動を行う最前線の役割を任せられて、とても驚きましたが、今では誇りを持って活動できています。

昔からものづくりや絵を描くのが好きで、それが、今の染物屋としての仕事に繋がっています。三嶋大祭りで自分が作った法被ほっぴや山車幕だしまく、幟旗のぼりばたなどが使われていて、地域に貢献をしているんだなと実感できて嬉しいですね。

消防団では、皆さんに知られていないさまざまな活動をしていることをアピールしていきたいです。若い20、30代の人たちが増えて、活動を盛り上げていけたらと思います。

消防団への入団希望…危機管理課 ☎ 972・5820

COVER PHOTO

表紙

だがしや楽校の特別企画「最高速チャレンジ」の一場面です。

元オリンピック選手の飯島誠さん(チームプリヂェストンサイクリング監督)に励まされ、全力でバイクを漕いで、自分の限界に挑戦していました。



CONTENTS

目次

- 2 消防も…の人
- 3 住み慣れたまちでずっと暮らし続けるために
- 7 みしま情報便 (information)
水道・下水道料金変更 / 山中城跡ガバメントクラウドファンディング / ラグビー盛り上げ協力店紹介 / TATSU'S ワークショップ / NO・BO・RU / 市民芸術祭【展示部門】ほか
- 12 広島市平和祈念式中学生参加報告
- 13 お知らせアラカルト
- 17 連載 これぞ自治会・町内会
- 18 いきいき健康
- 19 スポーツ情報
- 20 図書館からのお知らせ
- 21 フォトマイタウン
- 22 坂小学校で学びませんか
- 23 文化イベントカレンダー
- 24 三島バル



住み慣れたまちで ずっと暮らし続けるために

～在宅医療や介護について考えてみませんか～

問合せ：地域包括ケア推進課 ☎ 983・2689

「あなたは、人生の最期を
どのように過ごしたいですか。」

高齢化の進展に伴い、多死社会
を迎えようとしています。現在、
多くの人は病院で亡くなられて
いますが、病院の数は限られて
いて、受け入れが困難になるこ
とが予想されます。2025年
にはいわゆる団塊の世代がすべ
て75歳以上になり、医療と介護
の両方を必要とする人が急速に
増えることが予想されています。

医療や介護が必要になった時、
どこでどのように過ごしたいの
か、元気なうちから考えてみま
せんか。

今回の特集では、日々地域の中
で、高齢者の在宅生活を支えて
いる4人の専門職の皆さんから、
在宅医療と介護についてお話を
伺いました。

在宅医療とは

自宅などに医師が訪問して診療を行うことです。医師を中心に、訪問看護師やケアマネジャー、ホームヘルパーなどの専門職がチームとなり、住み慣れた自宅などで療養しながら生活できるようにサポートします。